



第 47 号	
発行所	公益社団法人 貝塚市シルバー人材センター
住所	〒597-0083 貝塚市海塚319番地の1
電話	072-432-3620
FAX	072-436-3957

新年のごあいさつ



理事長
勝
諭



新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、シルバー人材センターの諸事業にご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。当センターは、昭和57年に設立されてから、34年目に入りました。

私は昨年5月に、この歴史あるセンターの第四代目理事長としての大役を仰せつかり、改めて身の引き締まる思いと同時に責任の重大さを痛感しております。微力ではございますが、皆様方のお力添えをいただきセンター事業の発展のため、最善の努力を傾注してまいります。

さて、わが国の景気は、内閣府の月例経済報告によると、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いており、消費者物価は緩やかに上昇しているとされております。

しかしながら、安倍総理は1億総活躍社会の実現に向け、強い経済、子育て支援、社会保障の「新3本の矢」を掲げ、特に、7月から9月期国内総生産(GDP)が2四半期連続のマイナス成長となつて景気の足踏みが続く中、景気を下支えし、弱さが見られる流れを反転させるよう、緊急に経済対策を講じると言及されました。

こうした状況の中で、当センターにおける平成27年

度の上半期事業実績については、契約金額が約2億9,300万円であり、前年度同期と比較して約700万円、率にして2.4%の減少となりました。これは、指揮命令が生じるなど本来の請負・委任にそぐわなかった年間約1,400万円の事業を労働者派遣事業に移行したことなどによるものであり、ほぼ予定どおりの実績を残すことが出来ました。これもひとえに会員の皆様方の日頃のご努力と関係者の皆様方のご支援のお陰であると、深く感謝申し上げます。

また、高齢者人口が増加しているにもかかわらず、全国的にシルバー人材センターの会員数が減少している状況にあります。

当センターにおきましても同様に会員数が減少していることから、今後とも会員獲得はもちろんのこと、同時に就業開拓に努め、高齢者の就業を通じた生きがいを実感できる社会への参加を推進するとともに、活力ある地域社会づくりに貢献してまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層のご理解とご指導をお願い申し上げます。

結びに、本年も皆様方にとりまして例年にも増して素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



今年の干支 申
写真:南口 治義(写好会)

発注者の声

JAL エービーシー 手荷物一時預かり所

まずは、弊社につきましましてご説明をさせて頂きます。

私たち JAL エービーシーは JAL グループの一員として 1977 年からお客様の旅のシーンを快適にするためのサービスを展開しています。会社の基軸となるのが成田、羽田、中部、関西の 4 つの国際空港における「空港宅配サービス」です。ご自宅でお預けられた荷物を日本の空港で受け取れるなど、身軽な旅行を可能にするサービスとして定着しました。また、国内用及び海外用の携帯電話・スマートフォン・WiFi ルーターのレンタルサービスをご提供。こちらも世界で携帯やインターネットを使いたいお客様にご好評をいただいています。他にも各空港での手荷物やコートのお預かり、カード会社と提携した上での会員向け手荷物宅配、スキー場やゴルフ場への国内宅配など、お客様にさまざまなサービスをご提供しています。

今般、海外からのお客様の増加に伴い、一旦空港でお荷物をお預けになり、りんくうアウトレットなどにお出かけになられるお客様が急増しました。これまで、宅配の荷物と共に出発階倉庫でお預りしていましたが、預かれるスペースが手狭になり、別の場所に施設を借り受託を始めることとなりました。

そこで、以前も宅配でお世話になっていたシルバー人材センターのことが思い出され、直ぐに連絡をしたところ、前向きにご調整いただき、6 名もの会員様をお探しいただき、派遣とし業務に従事頂けることとなりました。

交代制の勤務であるため、それなりの人数が必要でありましたが、今回、貝塚市、泉佐野市、泉南市よりご協力いただき一時預り業務を無事始めることができ、深く感謝しております。本格スタートしてから、まだ日が浅いですが、会員の皆様が多様な意見を出して下さい、受付スタイルが確立しつつあります。海外のお客様がメインであり、言葉の弊害もありますが、皆さん頑張っていたいただき大変助かっております。

今後とも引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。



職場探訪

この度の職場探訪は、関西国際空港を利用する、外国人旅行者の手荷物を一時的に預かることを目的として、平成 27 年 11 月 6 日にオープンしたばかりの新しい職場です。会報編集委員会では、業務につかれておられるお 2 人の会員さんより、職場の内容についてお話を聞くことができました。

手荷物一時預かり業務の体制は、貝塚市・泉佐野市・泉南市のシルバー人材センターから、各 2 名づつ計 6 名の会員で構成されています。仕事は 2 名づつで 3 班に分かれて、月に 10 日間の勤務です。

勤務時間は 10 時 30 分～19 時までで、前半の人 10 時 30 分～16 時と後半の人 16 時～19 時とに分けて、受け持っています。

土曜日、日曜日そして祝祭日も関係なく、年中無休の職場です。

手荷物を預けるお客さんは、中国・韓国・台湾等のアジア系の人々が多いです。ほとんどの人が出発するまでの時間を利用して、食事や買物に行ったりするために預けにきています。荷物はスーツケースとか電気製品等の日本製品が多いです。

受付での受け渡し時の言葉のやりとりは、ほとんど分かりませんが、だいたい英語で

喋ってくれるのでそれなりに対応できています。

案内マニュアルに英語・中国語・韓国語・日本語の4カ国語が表示されていますので、これを見れば分かってくれます。

それより今の職場では、預かり料金の精算があり、現金を扱う仕事なので大変気を使います。外国の人は小銭で支払う人が結構多く、混雑する時間帯には長い行列ができるので困ることがあります。

幸いにして、今までミスは発生していません。今後もレジの打ち込み等も含めて、ミスが出ないように注意して行きます。

この仕事を通じて気が付いたことですが、外国人は思っていた以上に礼儀が正しいです。混雑した時など日本人なら大きな声を出したり、偉そうに怒鳴ったりする人がいますが、外国人にこのような人はいません。職場は毎日不特定多数の外国人相手の仕事だから、いろいろな出会いがあつて面白いです。脳の活性化や刺激にもなるし勉強にもなります。

荷物を預かる時と渡す時、必ず顔を合わせて言葉のやり取りがあります。

別れる時にサンキューとお礼を言つて帰る人が多いので大変嬉しいです。

わたしたちも忙しくない時、子供連れのファミリーを見ると、子供さん可愛いですね！旅行は楽しかったですかと、できるだ

職場探訪



け声掛けするようにしています。大方の人が日本は良かったですと答えてくれます。取材を通して、何気ない気配りや一声が、コミュニケーションには必要であると感じさせられました。

ら見てもこの職場は、今後益々必要になつてくると思います。どうか健康にはくれぐれも留意されて、お客様から(なくてはならない手荷物一時預かり所)と信頼されるように、業務に励んでください。

街頭啓発



毎年10月はシルバー人材センター事業の普及啓発促進月間となっております。センター事業を多くの皆様に知ってもらうために、10月25日(日)午前10時から貝塚シエルピアDeux(ドウ)アトリウムにおいて理事が、また10月14日(水)午後5時から南海貝塚駅・二色の浜駅、JR東貝塚駅・和泉橋本駅、水鉄水間観音駅・清見駅において地域委員が、啓発チラシ入りポケットティッシュを市民の皆様配布し、啓発活動を行いました。

清掃奉仕活動



「シルバーの日」恒例の清掃奉仕活動は、10月17日(土)気候の良い秋晴れの中、理事、総務・女性・就業部会員及び地域委員と一般参加者3名を含めて総勢39名参加のもと行われました。当日は午前9時にセンター作業所をスタートし、約1時間かけ市役所周辺道路の歩道を中心に3班に分かれて清掃しました。参加された皆様ご苦労さまでした。

会員作品展



今年度の会員作品展が去る10月23日(金)24日(土)25日(日)の3日間にわたり、貝塚シエルピアDeux(ドウ)アトリウムにおいて開催されました。写真・俳画・俳句・レース編み・ペーパークラフト・手芸品・油絵・水彩画など33点もの作品が展示され、展示期間中、約916人以上の方が展示コーナーに足を運んで下さいました。

野菜・果物の 盛り合わせサラダ



(文・写真 井垣 成一)

この盛り合わせサラダは、好みに応じて組み替えがいくらでもできます。使用食材の中でも特に、トマトとキュウリは減量や健康増進をめざすうえで、なくてはならない食べ物といわれています。中には含まれている豊富な水分が、繊維質の多い緑の野菜の消化を助けてくれるといわれているからです。

ぜひ、皆さんもチャレンジしてみてください。

しっかりと食べていつまでも健康とスリムでいたいたためにも・・・

会員の広場

俳句

前窪 靖弘

春深し 風の海染め 日の出ざる
すそ野から 風筋の見ゆる 植田かな
緑立つ 玉砂利の先 社見え
人絶えて 落葉にうもる 峠茶屋
暮れてなお 初雪止まず 山の寺



(絵ことば 岡本 峯子 P8・9とも)

シルバー川柳

「躓」

岡本 忠幸

躓いて 見知らぬ人に 労いたわられ (++)
入り口の バリヤフリーで 躓いた (△)
散歩道 いつもの所で 又よろけ (△)
躓いた 手よりもさきに 顔がつき (△)
団塊の 世代が埋まる 公園で
この人と いつかどこかで 出会ってる
理想でも 楽しい我が家 目差したい
カラオケや マイク持つ手が 歌手のよう
風邪ぎみと 言いつつ手には 杯をもつ

川口 明

今年、は申年、
私達の年です。
よろしくお祈いします。

今年、の年男、
年女の会員さん達です。

質問事項

- ① 健康保持で気遣っていること
- ② 余暇の過ごし方
- ③ 趣味

顔写真はお気に入りのスナップ
(幼少・青春時代を含む)を掲載しました。



藤田 正治

- ① 若い時から、ひとつも健康のこと考えていなかった。この1年一気に付けが来て足、暖弱ってきた。手遅れだ
- ② ボールペン、筆ペンで字を書くこと。毎日(毎日新聞・朝刊)の余録(650字程)大きな字で書き写す。TV余り見ない、ラジオ派
- ③ 書、作品鑑賞・読書



山口 敏美

- ① 食事、栄養バランスを考えて食べてます。適当な運動(家の回りを少し歩いています)
- ② 家では少しテレビを見たり時間があれば散歩をしています
- ③ 魚釣り



河合 貞男

- ① 体を動かすこと、ストレッチをためない、早寝早起
- ② ゴルフ、ダンスで体力維持、三味線で脳トレ
- ③ ゴルフ、三味線、ダンス



堀川 一男

- ① 歩くこと
- ② なし
- ③ なし



田畑 勝

- ① にし内科胃腸科医院で月1回血液検査しています
- ② 道の駅巡りしています
- ③ なし



尼野 林三

- ① 年齢と共に足腰が弱るので、出来るだけ歩くように心掛けています。なかなか実体は伴わないが...
- ② 天気よければ近郊でハイキング、ウォーキング、車で神社仏閣又は買い物
- ③ ハイキング、ノルディックウォーキング、オカリナ10数年しておりますが、なかなか上手に吹けません、でも楽しいです



大橋 信次

- ① 食べ過ぎないように気を付けています、毎日30分のウォーキングを実行しています
- ② 家の用事が主です
- ③ カラオケに時々行きます



高橋 弘明

- ① 毎朝庭で木刀と竹刀の素振りをして700本行ない、公園から二色理立地往復約8kmを早足で歩いている
- ② 妻と共に京都・奈良の神社仏閣巡りをしています
- ③ 剣道、週1回老骨にムチ打ち、子供達とお父さん方と竹刀を交わし汗を流しています



大橋 義郎

- ① 野菜を多く取る事、食事はうす味に
- ② 旅行、ボランティア活動(手品)デイサービスへ、家庭菜園、スーパー銭湯めぐり
- ③ マジック(手品)、魚釣り



中塚 晋二

- ① 食事
- ② 日帰り旅行
- ③ 絵画



岡本 峯子

- ① 1時間程度のノルディックウォーキング、牛乳、ヨーグルト、果物は毎日とる
- ② 公民館や体育館の講座に通う
- ③ 俳句、音楽、映画鑑賞



川村 美津子

- ① なし
- ② 孫の世話
- ③ 読書



坂本 二郎

①特に意識はしておりませんが、野菜が多めの食事を1日3度食べる事と適度の運動(ウォーキング)を心掛けております

②畑での野菜作りを楽しんでおります。1ヵ月で成長する葉物から数ヵ月かかって実になるものまで、それぞれの成長の過程と収穫が楽しみです

③若い頃していた山登りを定年後再開し、今は大阪周辺の山歩きをしています。読書は時代小説と山岳小説を好んで読んでいます



池田 清美

①休日のウォーキング
②散歩
③家庭菜園のお手伝い



出原 幸代

①心の健康を保つために、くよくよせず快眠するようにしている

②7人の仲間といっしょに劇に参加して、楽しく笑っている

③旅行、演劇鑑賞



前平 司朗

①規則正しい生活を心掛けること、早めの病院での診察と整形外科での身体のケア

②各ゴルフコンペへの積極的参加、ウォーキング(散歩)の実施、ソフトボール(貝塚市連盟・PTA・子供会・中体連)の審判

③ゴルフブレイ、ソフトボール試合の審判(審判員認定証あり)



中村 永樹

①ウォーキングをして
いる事

②将棋をする事

③将棋をする事



瀬川 次夫

①野菜を多く食べる、毎日歩く

②読書、音楽を聴く

③ハイキング、インターネット



浦川 一男

①暴飲暴食、体調の良い時程忘れやすい(私自身胃腸が弱い)

②家庭菜園

③映画鑑賞(洋画)



白坂 行夫

①水分補給、適度の運動

②週3日(月・木・土)2時間程度、グラウンドゴルフ

③週1日程度、カラオケを楽しんでいる

④カラオケ、テレビ(野球・相撲・歌番組)



浜端 守

①朝6時30分から清名台老人クラブ「ラジオ体操」に参加しています。(雨天、仕事日除く年間毎日)

②特にありませんが、家を出て色々な人と交わり話をする様に心がけています

③カラオケ



榮野川 フサ子

①暴飲暴食を避け規則正しい食生活と適切な運動を行うよう努力しています

②毎週水曜日は自宅で料理作り(妹達と)毎日1回映画、演劇鑑賞(妹達と)近くを散歩

③読書及び生花



吉田 隆久

①日の出と同時に30分位歩いていきます。なるべく運動をすること

②山歩き

③囲碁



富高 サチコ

①10分、30分歩いたり運動したり食事は3度きちんとしたりです

②色紙でいろんな品物を作ったりして楽しんで居ます

③手芸、花いじり、つり



土谷 猛

①禁煙中(10年間)尿酸値が高く痛風のパンチ受けプリン体の少ない飲み物、食べ物に気をつけてる

②昼寝、テレビ観戦(主にスポーツ)

③映画、パチンコ、旅行、素人大工



大島 一郎

- ① 歩いています
- ② テレビを見たり、ラジオを聞いている
- ③ 車やバイクで出かける事



田中 修治

- ① 暴飲暴食に気を付けています
- ② 野菜作り
- ③ 盆栽、花と庭木の手入れ



三宅 偉介

- ① 自分に合った体重の管理
- ② 自宅の庭木や花の手入れ
- ③ ソフトボール審判



中岡 洋文

- ① ウォーキング1日平均10,000歩、自家製の青汁(野菜ジュース)
- ② 係達と遊んだり、食事したりして過ごす
- ③ カラオケ、写真撮影、サイクリング



田中 康夫

- ① マイペースで適度な運動、規則正しい食生活
- ② 家庭菜園、野菜少々作っています
- ③ スポーツ観戦、歌謡コンサート鑑賞



濱野 秀敏

- ① 好きなこと、他人へ迷惑をかけない程度に好きにやる
- ② 剣道稽古、船釣り三昧
- ③ 釣り



森下 亮二

- ① 暴飲暴食をしないで、腹八分目を心掛けています
- ② 映画鑑賞、数独をしています
- ③ 旅行、写真(まだまだ未熟ですが)を楽しんでいます

左記の会員さんも申年生まれです

徳田 弘子
中村 豊
木下 玲子
柿本 宏子
米田 弘幸
岡田 久子
小林 安子
山本 昭子
志賀 利子
大谷 英雅
中村 泰人
高井 眞利子
宇賀 日出紀
片岡 俊一
山本 勝代
川村 勇三
竹村 宏文
湯峰 幸枝
松尾 フミ子

斉藤 忠
井上 千鶴子
赤松 勝三
日根野 政次
北又 利夫
寺岡 利治
濱岡 勝子
野口 静子
山ノ井 松彦
竹山 ミネ子



龍の手のミイラ、

見たことありますか？

天台宗別格本山

「龍谷山水間寺」

貝塚にある2大寺院、北の願泉寺に南の水間寺。

前回は願泉寺にまつわる「はったいこ」のエピソードを紹介しました。

今回は、水間寺と龍のエピソードを紹介しましょう。

エピソードと言うより水間寺と龍の話はそもそも縁起にかかわる話であり、いわゆるエピソードとは違う部類に属すると思われまます。

山号にある「龍谷」は、そのものズバリですからね。

簡単に水間寺の縁起を紹介すると、奈良に都を置かれた天皇、聖武天皇が病に伏せられた時、夢枕に春日明神が現れ、南西の方角に出現される観音様をお祀りすれば病も癒え、国も安定するとのお告げであったので、行基を南西方面に遣わし、出現す

る観音様を祀ることとしました。

和泉の国に来た時、白い鳥が現れて行基を導きましたが途中でいなくなり、代わりに子供が現れて水間の地まで導き、水間の瀧の上にいた白髪の老人が自分の手を肘から噛み千切って聖観音菩薩像とともに残して滝壺に龍となって消えたと言う話です。水間寺の本堂に龍の手のミイラといわれているものがありますが、これがその時の手でしょうか(???)

蛇足ですが、白い鳥を見失った所が「貝塚市烏羽」で子供が現れた所が同じく「清児」だと言うのは皆様ご存知の通りです。

また、聖武天皇が病気を患われたのが42歳で夢をご覧になった日は初午の日ということでした。

本来初午は神社のお祭り行事であるのにお寺である水間寺で盛んに行われていること、また、厄除けのご利益を求めてお参りする人が多いのも天皇のお歳が本厄だったことと関係しているのでしょうか。

その後水間寺は隆盛を極めますが、15世紀に粉河・根来との争いに破れ、学頭的一条院が人質になってしまい、粉河・根来の支配を受けることになった結果、16世紀末の秀吉による根来征伐のあおりで大部分が焼かれてしまいました。

その後、岡部候の庇護の下に再建されま

したが、三重塔建立には利生の銭の言い伝えがあります。

初午に金を貸して翌年に倍にして返すという。なんと年利100パーセント!!。銭一貫文(今の価値で約10万円)借りた人が13年日に返しにきたのです。

倍々ですからその額実に8192貫文(8億1920万円)。

そのお金で建てたのが三重塔といわれています。

水間へ遊びに来た井原西鶴が土地の老人からこの話を聞き、「日本永代蔵」に書いています。

皆様、借金にはくれぐれもご用心。

(会員 Tさん)



秋の催し



平成二十七年 度

会員互助会親睦行事

11月11日、中国では、「独身の日」という事で大変な賑わいのようでしたが、我がシルバー人材センターでも1年に1度の会員互助会の親睦会で老々男女が集い、大変な盛り上がりになっていました。11時30分、定刻に2台の送迎バスが一路目的地の松葉温泉「滝の湯」に向け出発しました。私が乗車したのは、目的地へノンストップ、後ろのバスは水鉄の水間観音駅を経由する約半時間のバスの旅です。

隣の座席に座っている会員さんと仕事や、世間話をしているうちに目的地に到着しました。バスから降りると、山峡のさわやかな秋風が頬を撫で、とても心地よい感じがしました。玄関を入り、仲居さんのお出迎えを受け宴会場へと足を運びました。

松葉温泉? 何処にあるのと思われる方もいますが、以前、松葉荘があった所で、悪友とすき焼きを食べ、徹夜で麻雀をしたことが懐かしい思い出として浮かんできます。今は松葉温泉「滝の湯」となり、古い建物

も取り壊され、真新しい建物にリニューアルされています。

参加者全員が揃ったところで、会長の勝氏からご挨拶があり、美味しい季節の料理に舌鼓を打ち、ビール、焼酎、ウーロン茶を飲みながら、あちらこちらのテーブルからにぎやかな話し声で盛り上がりつつあった。カラオケが始まりました。トップバッターは北島三郎の♪まつり♪でさらに盛り上がり、会員さん同士の楽しいお喋り、手拍子、掛け声が続く中、間を見計らって温泉に入ってこられた(私も含む)方もありました。楽しいカラオケ、お喋りの時間もオトリを迎え、勝会長の♪鳥田のプレゼントで閉幕となりました。宴会場から出る時に一人ずつくじ引きがあり、当たった景品をお互いに見せ合いながら出て行く姿は、童心に帰ったような光景でした。因みに、私は魔法瓶が当たりました。

当日は好天に恵まれ、非常に有意義な楽しい一日を過ごさせて頂きました。会員さん同士の絆も一層深まったのではないかと思います。また来年も再来年も健康に気を付け、この親睦会で元気な姿でお会いしましょう。

最後になりましたが、お世話下さいました事務局と松葉温泉の皆様にご代表して御礼申し上げます。

(田中 保信)



つげ櫛の神様

八品神社に

まつわる伝説

貝塚市澤地区にある八品神社の祭神は、天櫛玉命です。飛鳥時代に八種類の櫛造り器具を持った異国の人が、二色の浜に漂着し、櫛の製法を伝授したのが始まりとの由。貝塚市史第二巻第六編第四章伝説の「近木櫛の由来」の項に、二つの伝承があります。

私のお気に入りの一説を紹介します。

舒明天皇(五三九〜五七二)の御代、近木川が注ぐ二色の浜に美女が彷徨ってきた。妖精のような美女が様々な種類の櫛を用いて、綺麗に髪を掬う様はいかにも不思議であつたという。

頭髮の櫛は、長櫛・横櫛・二枚櫛・三つ櫛・鬢櫛・小櫛・差櫛・笄の八品であつた。

いつの間にか美女の姿は消え去り、残された櫛を祀つて櫛の宮を建て、八品の櫛に因み「八品神社」と称した。

平安時代後期の「新猿蓑記」に「和泉櫛」として紹介されています。中世には宮中等



櫛作りの図



に多くの櫛が納められ、櫛職人が全国へ販売に出かけていたことが知られています。

江戸時代には、近木郷一帯では六百名前後の職工がいたとの由。櫛の生産が全国生産の八割を超えたことから、人々は感謝の気持ちを含めて、二色の浜に八品神社を修復し、櫛の神社として崇められました。

一九〇九年(明治四十二年)南近義神社に合祀されましたが、この時、社殿はそのままに残されました。昭和六年火災で焼失しましたが、その後再建されて、現在は澤町の町内会が管理されています。

☎(〇七二) 四三二一―一三六七

資料室は毎月一日・十五日午前九〜十二時まで開室。つげの原木や製造に使用する道具類(辻忠商店提供)を展示されています。社殿には奉納された櫛絵馬が掛けられ、境内には石造の櫛塚が鎮座しています。社の玉垣には全国の櫛商店の名が見られ、かつて繁盛していたことが偲ばれます。

二〇一三年十一月三十日に、八十年ぶりに櫛まつりが復興、毎年十一月最終の日曜に行われています。八品神社の西側臨海沿線を南に下れば「和泉櫛」の製造・販売つげ櫛工房「辻忠商店」があります。

☎(〇七二) 四三二一―五四七七

(安藤 博文)

貝塚の昔ばなし(その三十一)

道陸神社の伝記

蛇谷城内の二神を移す

文 上岡兼手代前理事長

貝塚市木積に道陸神社があり、足の神様と称され泉州一円から信仰を集めている。

この神社は元来、氏族の祖先神、氏神ではなく、従って明治四十年の一郷一社制とはか、わりなく、統合から除外され現存している神社である。

この神社の歴史に付いては詳かな古文書記録が残されていないが裡伝によると、天文の頃(一五三〇年)木積蛇谷城を本拠とする松浦肥前守は城と土率の安全を願い、山霊、山津見(ヤマツミ)戸山津見(トヤマツミ)なる二神がまつられてあったと云う、そして肥前守は、子なきを憂い、この二神に子さずけを祈ったと云う、その御利益があつたのか間もなく、一子秀王丸が誕生した、秀王丸は成人して、松浦八郎右エ門と名乗り、一族を率いて河内国におもむくわけである。

その当時の二神が蛇谷城廢城(一五五八年頃)後、蛇谷城のあつた今の畑村の人達が、永禄二年(一五五九年)今からおよそ四二〇年前現在地に移されたと伝えられている。

所で道陸神社の祭神は山霊、山津見、戸山津見の二神とされているのにどうして「道陸」と称され、「道祖神」を祭る神社

とされているのか

口碑によると当時蛇谷城の土率に足を思う者が多く、当時今の道陸神社あたりより湧き出る山水を沸かし入湯せしめると不思議と全快した様であり、湧き出る清水は「道祖神」の清水であると称された。

後にその湯場跡に村人達は蛇谷城の二神を移し道祖神とし足神様として信仰する様になったと伝えられているが、一説によると松浦肥前守の一子、秀王丸は成人に際し蛇谷城の二神を子さずけの神として今の所に祭ったとの伝説もあり、江戸時代には子さずけの神であつたのがいつの時代にか足神様となり祭神も道祖神になったとの口碑が残されている

註Ⅱ「道陸神」とは「道祖神」のことであり「道祖神」を「どうろく」と称されている。



写真:中村 辰男

編集後記

爆買の人も居るかも!

久しぶりに橋を渡って関西国際空港に取材に行った班は:

外国人が多く、中でも「中国・韓国・台湾」の人が圧倒的。駐車場も6300を有す。

もう一方の班は「つげ櫛のルーツ」を尋ねて市内澤地区の八品神社へ:

「櫛資料室」開室日が毎月一日・十五日の午前九時〜十二時まで、3時間の取材となりました。なお駐車場は道端に小型車二台のスペース。

また、ご当地キャラクターなどの人気投票を行う「ゆるキャラグランプリ2015」の決戦投票が浜松市で開催され、グランプリに同市の「出世大名家康くん」に輝いたそうです。

今年のご当地や企業のキャラなど約1700体が参戦、うち260体が浜松市に集合した。

ちなみに当市の「つげさん」は63位と大健闘だったそうです。

本誌発刊にあたり多くの方々から投稿していただき、心から感謝し厚くお礼申し上げます。

会報編集委員会